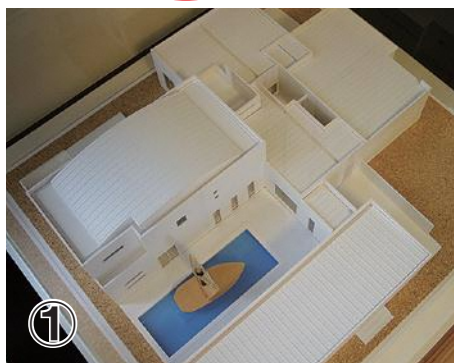




①当初計画していた家の模型 ②上空から撮影した愛艇《貴帆》 ③愛艇《貴帆》が掲げられたセール

感動して一目ぼれしたヨットを衝動買いしたため、プールを造るための予算が無くなってしまったので「プールになる予定だった自宅の庭が、芝生に変わったよ」と笑って話してくれました。

レースに出ようと思ったキッカケ

「はじめは青森市沖のレースとかに出てみたんだけどダントツのビリになっちゃってさ、そこで、負けず嫌いのスイッチが入った」と本格的にレースに参加するキッカケを教えてくださいました。

その後も別なレースに参加したものの、そこでもビリになり専門業者に聞いてみたところ、乗っているヨットがレース用じゃなく、クルージングヨットだからスピードが出ないと教えられました。

それからレース用のヨットに買い替え、様々なレースに挑戦したそうです。

心に刻まれたレース

様々なレースに挑戦した北田さんですが、一番印象に残っているレースについて伺うと「英プリマス〜米ニューヨークへのレース“ザ・トランザット”かな。映画タイタニックに出てくるコースを実際に走ったんだけど、風速50ノット（秒速25mほどの強風）の風が吹いたり、

ビルの上の2〜3階くらいの高さの波から何回も落とされて、さすがに命の危機を感じたね。船が半分に分かれて沈むのかなあって。そう考えると、一番大変だった分、一番思い出に残っているかな。ゴールの自由の女神が見えた時、おお着いたー！って感動したなあ」と話してくれました。

ヨットの魅力とは

「思い通りにいかない所かな。船を仕上げて、筋トレして、完璧に準備しても自然相手だから思った通りにはいかない。でもそこが面白い。そういう困難を乗り越えて、達成感で得られるんじゃないかなあ」と私は思う。やってみることは大事だよ」と挑戦することの大切さや難しさを教えてくださいました。

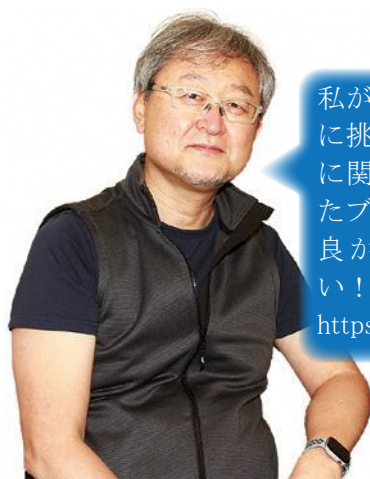
今後の目標・夢について

「2023年に“ザ・レースアラウンド”っていう世界一周レースが計画されている。2025年にも豪メルボルン〜大阪っていう大阪万博の年のレースがあつて、出来れば出たいなあ。今のところ妄想なんだけどね」とこれからについても話してくれました。

今後の活躍にも期待したいと思います。



“ザ・トランザット”のレース後、自由の女神をバックに



私が世界の様々なレースに挑戦した内容やヨットに関することなどを綴ったブログです。良かったら見てください！

<https://www.jpn6339.com/>

※撮影時のみマスクを外しています。

こちらの写真以外は全て北田さん本人より提供